

**第2回 まちづくり推進隊詫間 まちの魅力発掘コンテスト  
応募書類**

応募者名	石井 紫	団体の場合 担当者名	
住所	〒		
電話番号			
メールアドレス			
作品名	瀬戸内サイクリングアドベンチャーによるインバウンド事業		

**1. あなたが提案する詫間町の魅力と地域資源**

**詫間町のどのようなところに魅力を感じるのか、できるだけ具体的に理由を添えて記載してください。**

**※各記入欄は拡張可**

青い海と大小の島々が織り成す独特の風景を持つ瀬戸内海。その瀬戸内海の中心に位置する荘内半島は、三豊市が世界に誇る美しい地域資源の1つです。その内海に突き出た極めて独特な半島の地形をいかしたサイクリングコースも非常に魅力的な観光素材です。

すでに市観光協会や民間業者のサイクリングやマリンレジャービジネスも動き始めており、観光客誘致の受入母体が形成されつつあるのも魅力的な要素といえます。

**2. 魅力の活用プラン**

**あなたが感じるまちの魅力を、どのように活用すれば詫間町の活性化につながるのかを記載してください。**

**【事業名】** 瀬戸内サイクリングアドベンチャーによるインバウンド事業

**【事業の実施方法】** 荘内半島全体の潜在的資源をフル活用し、陸と海の両方で瀬戸内の自然を体感できるアドベンチャーコースを形成・実施することで、体験型の観光を好む国外からの観光客誘致（インバウンド）の促進を図ります。

実質的には、現在ある荘内半島サイクリングコースをベースとし、それにアウトドア活動（マリンレジャー、ハイキング等）を付加させることで、半日または一日単位で一緒に楽しめる観光ルートを企画・実施します。サイクリングにその他のアクティビティを組み合わせることで、「アドベンチャー（冒険）」という観点から、さらなる付加価値が生まれるとともに設備が十分でない荘内半島のサイクリングロードの問題点の解決にも繋がります。

PR 方法としては、多言語版の観光ホームページ等を充実させるとともに、各国航空会社等が主催する旅行フェアにブースを出店し、海外の来場者や旅行会社にPRします。特に、高松空港から直行便の出る台湾では、今、空前のサイクリングブームが起きており、日本旅行者リピー

ターは、東京、大阪、京都といったゴールデンルートを卒業し、日本各地に足を伸ばしてサイクリングを目的とした観光に訪れています。隣の愛媛県では、しまなみ海道のサイクリングコースへ多くの台湾人観光客誘致に成功しており、2015年に宿泊した台湾人延べ数は1万5800人。その多くは、高松空港や広島空港から入国しています。

サイクリングを目的とした観光はまだまだ伸びる傾向にあり、この需要を三豊市の地域資源を活用し誘客を図ります。

### 3. プランの実施効果

プランを実施することで、対象地域にとってどのような効果があるのか、箇条書きで記載してください。

○ 荘内半島を「瀬戸内海の中心」というイメージ戦略を行い、イメージアップにつなげる。

○ 民泊・宿泊代、食事代、おみやげ代などの観光消費額の増加による経済効果の推進が期待できる。インバウンドによる旅行代金支出の消費額は国内の観光客と比較すると数倍におよぶ。

○ 現在ある観光素材を最大限生かした効果的な観光ルートの形成による地域の魅力が再発見できる。

### 4. その他資料について

写真・絵・図・表・などを活用して、プランの実施イメージ図などの補足資料がある場合、添付してください。